

平成29年度 授業改善結果の検証について

学校名 中央区立日本橋中学校

校長名 平松 功治

<p>授業改善の 基本方針</p>	<p>取組範囲 (○) 全教科・( ) 学習力サポートテストの教科・( ) 重点教科                  ①生徒が興味をもつ教材や題材を取り上げる。 ②魅力的な導入を目指す。 ③学習の見通し、本時の目標(めあて)を明示する。 ④課題解決的な学習、既習事項を活用する学習を取り入れる。 ⑤自分の考えを発表・交流する機会を設ける。 ⑥「できた」「わかった」を実感させる授業展開を工夫する。 ⑦「できたこと」「わかったこと」を振り返らせる。 ⑧日常生活や社会生活への広がりに関心をもたせる。</p>	
<p>授業改善の 主な取組</p>	<p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組                  国語：古文・漢文に早い段階から親しませる。論理的思考力・表現力の向上を図る。多様な文体に触れさせる。作文推敲。                  社会：班、小グループで学び合い。ペアで資料の読み取りと説明。時事問題に関するスピーチ。                  数学：復習や繰り返し演習する時間の確保。数学に関するゲームを取り入れた授業。数学的な表現力を高める。30分間テスト、20分解説の授業を展開。                  理科：ICT機器を活用。話し合い活動。自らの考えを表現させる。小テスト。                  英語：短い初見の英文を毎回読ませる。時事的な内容も取り入れる。                  音楽：パートリーダーの育成。明確な評価計画。                  美術：作業手順が分かりやすいようにする。目標時間を決める。さまざまな作品を数多く鑑賞させる。                  保健体育：生徒同士で教え合う活動。                  技術・家庭：十分な作業時間の確保。</p>	<p>成果または課題                  国語：書く力が向上した。文章読解に課題がある。                  社会：多くの生徒が主体的に参加できた。内容の深化が課題。予習プリント・小テストによく取り組んでいた。                  数学：基礎的な計算力が定着してきた。生徒の興味関心を高められた。学び合いを意識した授業、実践することができた。どのように評価していくかが課題である。                  理科：興味を引き出すことができた。準備に手間がかかることが課題。取り組む意欲に差がある。話し合い活動を通して基礎が定着した。より深い理解につなげられるようにすることが課題。小テストで達成感を高められた。                  英語：英文を読むことに対する抵抗が減り、長文を短時間で一定量読む力がついた。アドリブで英会話をする姿勢が身についた。                  音楽：イメージを膨らませ、どのように伝えられるのかを考えさせることが課題。                  美術：達成感を感じる生徒が多かった。質の底上げを図ることが課題。                  保健体育：積極的に授業に参加する生徒が増えた。                  技術・家庭：課題に対して丁寧に取り組むことができた。</p>
<p>個に応じた 指導の工夫</p>	<p>重点的に取り組んだ指導の工夫                  国語：ワークシートの作成。放課後等の補充学習。作文指導の際に構成を考える時間を確保。                  社会：グループ編成の工夫。白地図作業。                  数学：補充教室で基礎・基本の定着。生徒の実態に応じた学習活動。学び合いが成立する班編成や教室の机の配置など。                  理科：予習、復習の方法を指導。学び合いの時間。单元ごとに小テスト。                  英語：英作文課題。                  音楽：実技試験における個の対応。ワンフレーズチェック。                  美術：生徒同士が教え合える授業環境。                  保健体育：能力に応じた学習から各段階での技能向上を目指す。                  技術・家庭：個別対応の機会を増やす。</p>	<p>成果または課題                  国語：論理的に書く力がついた。古典や文法に興味を持って取り組んだ。                  社会：苦手な生徒も主体的に参加した。家庭学習が課題。                  数学：意欲が高まった。数学的な諸事項にどう興味をもたせるかが課題。計算問題の正答率が上がった。                  理科：学び合い学習はよく機能していた。基礎が定着できた。発問の工夫が課題。                  英語：自分の得意不得意に気付くことができた。                  音楽：ワンフレーズチェックでは、個人の技量を確認することができた。                  美術：自己表現の幅が広がった。                  保健体育：個に応じた課題解決の場面が少なかった。                  技術：家庭：質問しやすい環境づくりができた。</p>

<p>授業改善の 検証方法</p>	<p>検証として取り組んだ項目に○を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 管理職による授業観察の検証</li> <li>(○) 教員相互での授業参観による検証</li> <li>(○) 校内研究での検証 (研究授業等含む)</li> <li>(○) 学習力サポートテスト、定期テスト等の結果による検証</li> <li>(○) 作品や提出物の評価による検証</li> <li>(○) 学校評価における教員の自己評価の検証</li> <li>(○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証</li> <li>( ) 外部評価委員会における検証</li> <li>( ) その他&lt;</li> </ul> <p style="text-align: right;">&gt;</p>
<p>授業改善の 主な結果</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p>&lt;児童・生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 学習意欲がより高まった。</li> <li>(○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。</li> <li>(○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。</li> <li>(○) 学力 (学習の到達度) の向上が図られた。</li> </ul> <p>&lt;教員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。</li> <li>(○) 授業の指導技術が向上した。</li> <li>(○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。</li> <li>( ) その他&lt;</li> </ul> <p style="text-align: right;">&gt;</p>